

## ② 輸出に向けた有機栽培の取組とスマート農業技術の導入 【農事組合法人 東邦農園（島田市）】

有機栽培

生産性向上

### ■活用した事業

「茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業」を活用して改植や有機栽培への転換を実施  
「スマート農業技術実証プロジェクト」を活用してスマート農業技術の実証を実施

### ■経営の概況

経営面積25haを従業員6名で耕作している。「やぶきた」がメインで、耐病性を考慮して「つゆひかり」「せいめい」「おくみどり」への改植を事業を活用しながら進めている。摘採した生葉は全量KAWANE 抹茶（株）で碾茶に加工され、さらに静岡オーガニック抹茶（株）で抹茶に加工され、輸出されている。

### ■取組内容

#### ・有機栽培

経営面積の25haはすべて有機JAS認証を取得している。もともと当該地域では害虫の発生がほとんどなく、有機栽培へのハードルは高くなかった。肥料については、有機認証機関に確認しながら、魚かす、油かすなどを使用している。さらにハラル認証、レインフォレスト認証も取得済みである。

#### ・スマート農業技術

スマート農業技術実証プロジェクトを活用して衛星画像診断、フィールドカメラによる茶園モニタリング、作業記録ツールの導入による輸出向け栽培管理、KAWANE 抹茶での碾茶加工設備のIoT化によるデータ統合より作業時間削減を行った。特に碾茶加工設備のIoT化については、作業状況がSNSで把握できるため大幅な作業時間の短縮につながった。

#### ・山椒の栽培

日当たりの悪い茶園の転換作物として、「ゆず」と「山椒」の栽培に取り組んでいる。いずれも一番茶の最盛期とかぶらず、収益の向上や作業の通年化につながることを期待している。



有機栽培の茶園



山椒の栽培